

鼻を正しくかめていますか？

今年も花粉症の季節がやってきました。鼻水やくしゃみが止まらなくて困っている方も多いと思います。子どもたちの鼻をかんでいる姿を一度見てみてください。きちんとかめているのでしょうか？かんでいるようで拭いているだけ、もしくは強くかみ過ぎている・・・などの姿はないでしょうか？今回は、鼻をかむことの教え方とポイントを紹介します。

☆**目安を使う**：片方の鼻をおさえ、ティッシュやセロハンなどの軽いものを飛ばしてみましよう。鼻から息を出すという原理がわかれば一歩前進です。

☆**鼻呼吸をうながす**：口を閉じると苦しがる子がいます。鼻呼吸を教えるには、息こらえの練習をする、ぶくぶくうがいの要領で一定時間口に水を含ませる練習をする、などがあります。

☆**模倣の力を伸ばす**

くり返し鼻息や鼻水を出す様子を模倣させるとうまくいくこともあります。王道ですが、この力をつけていくことは大切です。 (文責：中瀬真由美)

参考文献：できる！をめざして一発達障害をもつ子への身辺自立の指導と援助 武藤英夫著

◆ポイント◆

1. 片方ずつかむ
2. ゆっくりと小刻みに
空気を押し出す
3. 力まかせにかまない



引継ぎのコツ！！

STEP1:子どもたちが「困っていること」「困っている時どんな行動をするか」を明確にしましょう

例えば・・・話が長くなると集中が途切れ、聞き漏らして、さらに集中が途切れる。

**STEP2:「困っていること」に対してどんな指導や支援をしてきたかを整理しましょう
うまくいかなかった支援を整理しましょう**

例えば・・・机間巡視を多くしている。席を配慮している。

指示を短くして、作業や発表、一斉読みや復唱の機会を多くしている。

STEP3:新しい環境で「困るかもしれないこと」を想像してみましよう

例えば・・・(環境が変わるので)不安が強くなるのではないかな？

(1クラスの数が増えるので)授業中に教師の話聞くのが難しくなるのではないかな？

(漢字が苦手だから)英語の単語のスペルも覚えにくいのではないかな？

(今は声かけや保護者との連絡で出せているが)提出物を出せなくなるのではないかな？

保護者が不安になるのではないかな？関係機関との連携が途切れてしまうのではないかな？

保護者も含めた引継ぎの機会をもつことも良い方法です！旧担任が保護者のサポート役になりながら、不安に思っていることや支援してほしいことなどを一緒に話し合ってみましよう。子どもと保護者の不安を減らして入学を迎えることができます。 (文責：中本雅子)

